

# 第26回消費者行動研究コンファレンス

## プログラム

(統一論題)

## 環境問題と消費者行動

日時：2003年6月6日(金)～6月7日(土)

場所：研究会会場 大阪樟蔭女子大学・小阪キャンパス

懇親会会場 キャンパス内食堂

日本消費者行動研究学会

第1日目 6月6日(金) 大阪樟蔭女子大学・小阪キャンパス

受付 10:00 ~ 10:25

開会の辞 10:25 ~ 10:30

会長 江原淳(専修大学)

自由論題研究報告 10:30 ~ 12:30

- 円形ホール(大学新館2階) -

「消費者とブランドの関係の構造と測定尺度の開発」

畑井佐織(学習院大学)

「戦略的選好形成のための連用経験効果の定量化」

芳賀麻誉美(女子栄養大学)

水野誠(筑波大学)

「自己及び他企業のTV広告量バランスによる価格需要曲線の変化

- ニューラルネットワークの衣料用洗濯洗剤データへの適用 - 」

上田隆穂(学習院大学)

藤居誠(学習院大学大学院)

劉寧(学習院大学大学院)

杉山洋一(学習院大学大学院)

「情報提示実験による各種メディアの信頼性形成過程の研究」

根本則明(甲南大学)

- 第4会議室(大学新館3階) -

「百貨店の購買履歴データを用いた店舗内買回り行動の分析」

鶴見裕之(立教大学大学院)

中山厚穂(立教大学大学院)

「高齢者と新製品の購買 - ライフステージでみた高齢者の購買行動」  
上田雅夫(財団法人流通経済研究所)

「インターネット上の情報の所在と広がりについての分析」  
新井範子(専修大学)  
植竹朋文(専修大学)

「日本の消費者の特質に関する一考察  
- 本質と周辺という分析枠組みを中心に -」  
平野英一(九州産業大学)

昼食(役員会) 12:30 ~ 14:00

統一論題テーマ提起 14:00 ~ 14:15

「環境問題と消費者行動」  
青木道代(玉川大学)

統一論題研究報告(1) 14:15 ~ 16:00

「“グリーン・コンシューマー”の再検討」  
明神実枝(神戸大学大学院)

「環境配慮型行動に対する認識と購買行動との関連性」  
西道実(プール学院大学)  
木下広美(応用社会心理学研究所)  
岩井洋(関西国際大学)  
東正訓(追手門学院大学)  
吉田純子(応用社会心理学研究所)  
永野光朗(大阪樟蔭女子大学)

「環境に配慮した商品の購買要因について  
- ある自治体の消費実態調査の結果から -」  
青柳みどり  
(独立行政法人国立環境研究所)

休憩 16:00 ~ 16:20

会長講演 16:20 ~ 17:00

「役に立つ消費者行動研究」

江原淳(専修大学)

会員総会 17:00 ~ 18:00

懇親会 18:00 ~ 20:00

第2日目 6月7日(土) 大阪樟蔭女子大学・小阪キャンパス

統一論題研究報告(2) 10:00 ~ 11:30

「外因性内分泌かく乱物質に対するリスク認知と消費行動」

杉本徹雄(上智大学)

花尾由香里(上智大学大学院)

「循環型社会構築に向けての環境コミュニケーションと説明責任」

森下研((株)エコマネジメント研究所)

昼食 11:30 ~ 13:00

シンポジウム 13:00 ~ 15:00

「循環型社会の実現を目指して」

司会

青木道代(玉川大学)

パネラー

西尾チヅル(筑波大学)

森下研((株)エコマネジメント研究所)

川島康弘(滋賀県)

閉会の辞 15:00 ~ 15:05

副会長 青木幸弘(学習院大学)

〔大阪樟蔭女子大学・小阪キャンパス案内図〕

大阪樟蔭女子大学・小阪キャンパスへのアクセスについては  
大阪樟蔭女子大学のホームページをご覧ください

<http://www.osaka-shoin.ac.jp>



近鉄奈良線「河内小阪駅」下車西へ 300m

**JACS**